

「木造文化財建造物の雪害と雪対策」 石川県立白山ろく民俗資料館の事例

山口 一男
(石川県立白山ろく民俗資料館)

1, 石川県立白山ろく民俗資料館の概要

住所 石川県白山市白峰 昭和57年7月設立 (金沢から約50km 標高500m)

施設の概要 敷地面積17,450㎡、6棟の移築民家と管理棟・収蔵庫・料金所(便所)・ポンプ室・東屋など
移築民家

旧杉原(助五郎)家	栗小羽葺	建坪132坪	建築年代元治元年(1864)	県指定	門
旧織田(末一)家	栗小羽葺	建坪82坪	建築年代江戸後期	県指定	
旧小倉家	栗小羽葺	建坪42坪	建築年代江戸前期	国指定	
旧長坂家	茅葺き	建坪39坪	建築年代明治5年(1872)	県指定	倉・便所・水車小屋
旧表道場	茅葺き	建坪34坪	建築年代江戸末期	県指定	
旧尾田家	茅葺き	建坪30坪	建築年代文久2年(1862)	国指定	水屋・カッター小屋

2, 白峰の雪

①最近10ヶ年間の雪の状況(H17~H26年)

初雪	12月1日
根雪	12月19日
消雪日	3月30日
降雪日数	46日間(H21 32日~H18 58日)
積雪量	220cm(H19 92cm~H18 337cm)
降雪量	875cm(H19 422cm~H18 1493cm)

②過去の豪雪

③白峰の雪下ろし

昭和50年代以前は、積雪深が1.5mを越えるか、座敷の戸の開閉がきつくなるまで雪下ろしをしなかった。雪下ろしの回数は、平年で2~3回、38豪雪の時で4~6回だった。

昭和50年代以降は、積雪深が1mを越えると雪下ろしをするようになった。雪下ろしの回数は、平年で3~4回、56豪雪の時は6~9回になった。雪下ろしの回数が増加したのは、昭和40年代初めにスノッパが普及したことと、流雪溝の整備、生活様式の変化(通年雇用・車社会)による。しかし、この事は除排雪に対する労力や経費の増大につながり、屋根融雪の導入が検討されるようになった。

昭和62年には2戸が屋根融雪を設置し、その後村が補助制度を設けたため、平成16年には175戸(総世帯数374)まで普及した。しかし、近年の灯油価格や電気料金の上昇により経済負担が大きくなり、再び雪下ろしをする家も出ている。河岸段丘の崖に面した家では維持費の掛からない自然落雪式(片屋根)にした家も多い。雪下ろしは経済的にも労力的にも精神的にも大きな負担で、雪下ろし人夫の不足と費用の増大で空き屋は取り壊すことが多くなった。

3, 雪の性質

①雪の密度

降雪の密度 0.062 (昭和38年低温) ~0.078 (平成18年高温)

積雪の密度 約0.45 降雪量の凡そ6~7分の1になる。(沈降は気温の上昇により促進される)

S 49.02.20 (積雪310cm…最終降雪から6日後、その間に積雪量は110cm減)

雪面10cm - 0.359

~110cm - 0.415 (0.350~0.490)

~210cm - 0.425 (0.390~0.470)

~300cm - 0.541 (0.458~0.650)

~310cm - 0.330

S 50.03.12 (積雪170cm…最終降雪から4日後、その間に積雪は35cm減)

雪面10cm - 0.440

~80cm - 0.441 (0.360~0.520)

~160cm - 0.474 (0.410~0.530)

~170cm - 0.215

②雪の降り積もり方

吹雪による雪庇と吹き溜まり

沈降による雪の移動

③着雪性・吸湿性・再結氷・キゴユキ

④屋根の雪の重量

積雪1.5mの時に杉原家(母屋)の屋根にのる雪の重量 面積110坪 密度0.30 = 163.35 t 以上

4, 雪に対する施設の管理

①越冬準備

雪囲い・雪吊り 取付180,000円 (取り外し84,000円)

②冬期の管理

雪下ろし

	平年	2.5m以上
小倉家	3~4回	5回以上
杉原家	1~2回	2回以上
織田家	1~2回	2回以上
長坂家	1~2回	2回以上
表家	1回	2回以上
尾田家	2回	3回以上
管理棟	0.5回	1回以上
収蔵庫	0回	1回以上
東屋	0回	1回以上

2.5m以上の積雪になると下ろした雪の除排雪が必要になる

③消雪後の管理

冬囲い・雪吊りの取り外し
屋根の小羽・置き石、茅屋根の補修

④資料館の雪下ろし及び除排雪費用

平成22年（積雪245cm－総降雪量994cm	降雪日数47日）	678,000円
平成23年（積雪337cm－総降雪量1330cm	降雪日数55日）	1,593,506円
平成24年（積雪262cm－総降雪量903cm	降雪日数52日）	1,033,620円
平成25年（積雪198cm－総降雪量754cm	降雪日数49日）	352,800円
平成26年（積雪141cm－総降雪量555cm	降雪日数44日）	198,450円

⑤一般民家の融雪装置のコスト（K家－建坪約50坪－屋根面積約66坪）

平成18年（積雪335cm－総降雪量1493cm	降雪日数58日）	480,000円
平成25年（積雪198cm－総降雪量754cm	降雪日数49日）	180,000円
平年		2~300,000円

5, 雪害

重量と沈降圧と凍結による被害

屋根 小羽屋根 置き石と小羽板のずれ タルキの折損 軒折れ 逆漏
カヤ屋根 棟のずれ カヤ抜け
壁 土壁の亀裂 土壁の剥落 鎧壁のずれ
雪囲い 支柱・貫・板の破損
樹木 雪折れ

6, 雪対策

過疎高齢化による熟練雪下ろし人夫の不足と人夫賃の上昇
低いボランティア受入の可能性
機械除雪の限界

白峰村の積雪記録(1960~2013年)

年	初雪日	最終降雪	根雪日	消雪日	根雪期間	最大降雪	最大積雪	最大積雪日	降雪日数	総降雪量	積算積雪量	
昭和35	12月 6日	4月 8日	12月21日	3月17日	88日	70cm	170cm	1月30日	48日	809cm	53.98m	1960年
昭和36	11月27日	3月11日	12月28日	4月13日	107日	100cm	400cm	2月18日	61日	1,705cm	225.06m	
昭和37	11月24日	4月 5日	12月22日	4月12日	112日	80cm	265cm	2月 1日	63日	1,538cm	166.17m	
昭和38	11月23日	4月10日	12月31日	4月28日	119日	130cm	420cm	1月27日	72日	2,214cm	298.95m	
昭和39	11月27日	3月28日	1月19日	4月 1日	74日	90cm	150cm	2月 5日	43日	747cm	58.27m	
昭和40	11月25日	4月12日	12月 2日	4月21日	140日	70cm	165cm	3月14日	71日	1,193cm	106.07m	
昭和41	11月27日	3月30日	12月 6日	4月 2日	120日	70cm	240cm	2月 7日	51日	1,219cm	113.89m	
昭和42	11月22日	3月24日	12月 1日	4月 1日	122日	100cm	250cm	1月17日	61日	1,367cm	134.95m	
昭和43	11月21日	3月18日	12月 8日	4月17日	132日	90cm	335cm	2月12日	71日	1,948cm	249.14m	
昭和44	12月16日	4月 6日	12月16日	4月 7日	113日	80cm	230cm	1月 8日	47日	1,262cm	98.88m	
昭和45	11月25日	3月26日	12月 3日	4月19日	138日	90cm	254cm	3月 8日	72日	1,658cm	196.61m	1970年
昭和46	11月12日	3月17日	11月29日	4月 5日	128日	55cm	230cm	2月10日	60日	1,081cm	120.71m	
昭和47	11月30日	4月 2日	11月30日	3月19日	111日	85cm	145cm	12月 9日	41日	488cm	24.40m	
昭和48	11月22日	3月26日	11月22日	3月28日	127日	49cm	115cm	2月10日	52日	782cm	41.13m	
昭和49	11月18日	4月 3日	11月18日	4月23日	156日	120cm	410cm	2月13日	80日	1,907cm	291.87m	
昭和50	11月14日	4月 2日	12月 5日	4月 7日	124日	85cm	210cm	2月24日	62日	1,215cm	112.62m	
昭和51	12月12日	4月 7日	12月12日	3月28日	108日	88cm	246cm	1月24日	56日	1,243cm	109.96m	
昭和52	11月14日	3月25日	11月27日	4月 4日	129日	75cm	255cm	2月17日	69日	1,745cm	160.32m	
昭和53	11月23日	4月 7日	12月19日	4月16日	119日	72cm	217cm	2月 4日	67日	1,323cm	105.99m	
昭和54	11月28日	3月 4日	12月30日	3月19日	80日	55cm	93cm	1月22日	29日	653cm	23.81m	
昭和55	11月13日	3月22日	1月 6日	4月 5日	91日	78cm	290cm	2月16日	46日	1,308cm	128.35m	1980年
昭和56	12月 4日	3月27日	12月 4日	4月23日	141日	110cm	480cm	1月15日	72日	1,910cm	343.37m	
昭和57	11月 8日	4月10日	12月 2日	4月13日	104日	45cm	165cm	2月10日	61日	922cm	m	
昭和58	11月25日	3月19日	1月 9日	4月 8日	90日	80cm	270cm	2月21日	44日	1,109cm	m	
昭和59	11月13日	3月22日	12月 6日	4月22日	139日	63cm	290cm	2月 9日	83日	1,607cm	m	
昭和60	11月28日	4月 1日	12月19日	4月 2日	91日	75cm	270cm	1月31日	50日	1,215cm	m	
昭和61	11月15日	4月 7日	12月 9日	4月18日	131日	115cm	315cm	3月 1日	66日	1,764cm	m	
昭和62	11月26日	3月27日	12月20日	3月17日	89日	60cm	140cm	3月 2日	48日	839cm	m	
昭和63	12月 2日	3月27日	12月 2日	3月26日	116日	60cm	160cm	3月 9日	45日	842cm	m	
平成 1	11月11日	4月 8日	11月25日	3月30日	126日	90cm	157cm	12月17日	45日	658cm	m	
平成 2	11月19日	3月19日	12月28日	2月13日	77日	60cm	139cm	1月26日	34日	543cm		1990年
平成 3	12月17日	5月 3日	12月17日	3月29日	103日	90cm	300cm	2月25日	55日	1,299cm		
平成 4	12月12日	4月14日	12月29日	3月14日	77日	60cm	125cm	2月25日	32日	645cm		
平成 5	11月27日	4月 9日	12月12日	3月30日	109日	50cm	130cm	2月 2日	51日	901cm		
平成 6	11月24日	3月27日	12月17日	4月 5日	141日	80cm	185cm	2月14日	54日	948cm		
平成 7	11月27日	4月 3日	12月15日	3月22日	98日	100cm	220cm	2月 7日	73日	1,208cm		
平成 8	11月 2日	4月21日	11月24日	4月14日	143日	80cm	270cm	2月 2日	91日	1,331cm		
平成 9	11月16日	3月31日	11月30日	3月25日	85日	50cm	210cm	2月23日	50日	968cm		
平成10	11月 1日	4月 2日	12月 3日	3月 4日	93日	55cm	140cm	1月27日	41日	623cm		
平成11	11月19日	4月 8日	12月30日	3月24日	85日	75cm	190cm	2月14日	42日	809cm		
平成12	12月 7日	4月11日	12月15日	4月 7日	115日	87cm	198cm	2月29日	83日	1,170cm		2000年
平成13	11月28日	4月 4日	12月12日	4月 5日	113日	72cm	205cm	1月15日	68日	1,057cm		
平成14	11月27日	3月25日	12月11日	3月15日	94日	78cm	205cm	1月31日	52日	998cm		
平成15	10月29日	3月25日	12月10日	3月26日	107日	90cm	210cm	2月 1日	61日	1,061cm	史上最早く初雪	
平成16	12月 9日	3月25日	12月 9日	3月18日	101日	95cm	250cm	2月 9日	50日	1,053cm	大長山遭難	
平成17	12月23日	3月29日	12月31日	3月25日	85日	88cm	254cm	2月 3日	46日	1,030cm		
平成18	12月 3日	3月31日	12月 5日	4月20日	136日	70cm	335cm	2月 9日	58日	1,493cm	消雪は推定	
平成19	12月 3日	3月20日	12月29日	3月21日	76日	53cm	92cm	2月 2日	33日	422cm	史上最小雪	
平成20	11月19日	3月25日	12月25日	3月25日	91日	60cm	179cm	2月17日	44日	675cm		
平成21	11月19日	3月28日	12月26日	3月 6日	71日	65cm	164cm	1月15日	32日	594cm		
平成22	12月18日	3月31日	12月19日	3月30日	103日	80cm	245cm	1月15日	47日	994cm		2010年
平成23	12月 9日	3月27日	12月25日	4月20日	111日	75cm	337cm	1月31日	55日	1,330cm		
平成24	11月25日	4月 7日	12月17日	4月15日	120日	61cm	262cm	2月10日	52日	903cm		
平成25	11月15日	3月24日	12月 5日	3月28日	113日	44cm	198cm	2月25日	49日	754cm		
平成26	11月29日	3月21日	12月12日	3月21日	109日	40cm	141cm	2月16日	44日	555cm		

白峰村の豪雪記録

年	初雪日	最終降雪	根雪日	消雪日	根雪期間	最大降雪	最大積雪	最大積雪日	降雪日数	総降雪量	積算積雪量
大正 7	11月12日	4月 1日	12月11日				732cm	1月21日	不明	不明 史上最高	不明 史上最高
昭和56	12月 4日	3月27日	12月 4日	4月23日	141日	110cm	480cm	1月15日	72日	19.10m	343.37m
大正 6	12月25日		12月25日	5月 5日	131日		479cm	3月 6日			368.84m
昭和20	12月 3日	3月25日	12月 7日	4月22日	141日	88cm	470cm	1月27日	70日	21.07m	364.20m
昭和 9	12月14日			5月10日			430cm	3月10日		20.90m	366.95m
昭和38	11月23日	4月10日	12月31日	4月28日	119日	130cm	420cm	1月27日	72日	22.14m	298.95m
昭和49	11月18日	4月 3日	11月18日	4月23日	156日	120cm	410cm	2月13日	80日	19.07m	291.87m
昭和36	11月27日	3月11日	12月28日	4月13日	107日	100cm	400cm	2月18日	61日	17.05m	225.06m
昭和15							380cm	1月31日			254.70m
昭和 2							379cm	2月10日			219.01m
昭和22	12月 4日	3月26日	12月 5日	4月26日	143日	90cm	360cm	2月22日	42日	12.04m	243.31m
昭和18							351cm	2月12日			271.72m
昭和43	11月21日	3月18日	12月 8日	4月17日	132日	90cm	335cm	2月12日	71日	19.48m	249.14m
平成18	12月 3日	3月31日	12月 5日	4月20日	136日	70cm	335cm	2月 9日	58日	14.93m	推定
明治43	11月29日		11月29日	4月21日	144日		318cm	3月14日			186.51m
昭和61	11月15日	4月 7日	12月 9日	4月18日	131日	115cm	315cm	3月 1日	66日	17.64m	
昭和11							300cm	3月10日			245.88m
平成 3	12月17日	5月 3日	12月17日	3月29日	103日	90cm	300cm	2月25日	55日	12.99m	
昭和59	11月13日	3月22日	12月 6日	4月22日	139日	63cm	290cm	2月 9日	83日	16.07m	
昭和32	11月17日	4月 4日	12月10日	4月19日	131日	60cm	280cm	12月26日	73日	15.55m	193.37m
昭和37	11月24日	4月 5日	12月22日	4月12日	112日	80cm	265cm	2月 1日	63日	15.38m	166.17m
平成15	10月29日	3月25日	12月10日	3月26日	107日	90cm	210cm	2月 1日	61日	10.61m	
平成10	11月 1日	4月 2日	12月 3日	3月 4日	93日	55cm	140cm	1月27日	41日	6.23m	

大正7年の気象台の積雪記録は682cm。降雪日数は平成8年91日であるが、大正7年はそれを上まわる考えられる。赤字は最大値

連続降雪日数・総降雪量

大正 6年12月16日	～	1月23日	39日間 (推定)	
昭和37年12月31日	～	2月 4日	36日間	1,842cm(51cm)
昭和56年 1月 3日	～	1月 4日	22日間	793cm(36cm)
平成23年 1月12日	～	2月 1日	21日間	931cm(44cm) (1月22日は降雪0)
平成18年12月13日	～	12月31日	20日間	684cm(34cm) (12月21日は降雪0)
昭和31年12月 9日	～	12月27日	19日間	670cm(35cm)
昭和51年12月27日	～	1月 8日	13日間	529cm(41cm)
昭和44年12月30日	～	1月 9日	11日間	570cm(52cm)

月間総降雪量記録

①昭和38年 1月1日	～	31日	1,599cm	降水量換算988mm 対降雪比0.0618
②昭和56年 1月			842cm	
③昭和20年 1月			840cm	
④昭和61年 1月			834cm	
⑤平成17年12月4日	～	30日	804cm	降水量換算623mm 0.0775 (対38年比125)
⑥昭和51年 1月			744cm	
⑦昭和34年 1月			694cm	
⑧昭和31年12月			694cm	
⑨昭和55年12月			692cm	
⑩昭和44年 1月			688cm	
⑪昭和19年12月			685cm	
⑫昭和42年12月			678cm	
⑬平成 7年 1月			678cm	
⑭昭和31年 1月			677cm	
⑮昭和22年 2月			672cm	

週間総降雪量

昭和38年 1月21日 ~ 1月27日	5 4 0 cm
昭和38年 1月29日 ~ 2月 4日	4 4 5 cm
昭和44年 1月 2日 ~ 1月 8日	4 9 0 cm

以上白峰役場資料より 06.01.24

過去の最大値と38豪雪

年	初雪日	最終降雪日	根雪日	消雪日	根雪期間	最大降雪	最大積雪	降雪日数	総降雪量
最大値	10月29日	5月 3日	11月18日	5月10日	156日	130cm	732cm	91日	不明
昭和38	11月23日	4月10日	12月31日	4月28日	119日	130cm	420cm	72日	22.14m

白峰村の小雪記録

年	初雪日	最終降雪	根雪日	消雪日	根雪期間	最大降雪	最大積雪	最大積雪日	降雪日数	総降雪量	積算積雪量
平成19	12月 3日	3月20日	12月29日	3月21日	76日	53cm	92cm	2月 2日	33日	4.22m	
昭和54	11月28日	3月 4日	12月30日	3月19日	80日	55cm	93cm	1月22日	29日	6.53m	23.81m
明治44							121cm	1月 3日			70.85m
平成 4	12月12日	4月14日	12月29日	3月14日	77日	60cm	125cm	2月25日	32日	6.45m	
昭和25	12月 6日	3月23日	12月25日	3月25日	113日	71cm	130cm?	1月11日	62日	12.20m	38.67m
平成 5	11月27日	4月 9日	12月12日	3月30日	109日	50cm	130cm	2月 2日	51日	9.01m	
昭和 5							133cm	2月13日			47.95m
平成 2	11月19日	3月19日	12月28日	2月13日	77日	60cm	139cm	1月26日	34日	5.43m	m
昭和 7							139cm	2月29日			46.32m
平成10	11月 1日	4月 2日	12月 3日	3月 4日	93日	55cm	140cm	1月27日	41日	6.23m	
昭和47	11月30日	4月 2日	11月30日	3月19日	111日	85cm	145cm	12月 9日	41日	4.88m	24.40m
昭和39	11月27日	3月28日	1月19日	4月 1日	74日	90cm	150cm	2月 5日	43日	7.47m	58.27m
平成 1	11月11日	4月 8日	11月25日	3月30日	126日	90cm	157cm	12月17日	45日	6.58m	

総降雪量比較表

年	初雪日	最終降雪日	根雪日	消雪日	根雪期間	最大降雪	最大積雪	降雪日数	総降雪量	
S30~S61	11月23日	3月28日	12月14日	4月 8日	110日	83cm	246cm	58日	13.06m	1955~1986年
S62~H24	11月27日	4月 1日	12月14日	3月20日	100日	75cm	204cm	51日	9.27m	1987~2012年

国内の豪雪記録

最大積雪深	785cm	昭和20年(1945) 2月12日	長野県栄村森宮野原
	742cm	昭和 2年(1927)	長野県小谷村中土
	732cm	大正 7年(1918) 1月21日	石川県白峰村白峰
	708cm	昭和11年(1936)	新潟県魚沼市栃尾又
24時間降雪	180cm	昭和22年(1947) 2月28日	富山県大山町真川
	176cm	昭和 2年(1927) 2月 9日	新潟県高田市高田
	141cm	昭和56年(1981) 1月12日	新潟県津南町津南 (7位)
	130cm	昭和38年(1963) 1月25日	石川県白峰村白峰 (1月24日 120cm)

金沢市・白峰村の豪雪記録

明治14年(1881) 1月12日までに屋根の雪下ろし4回に及び挙村恐怖 (矢ヶ崎「」)
 明治18年(1885) 金沢で30年或いは70年(文化12年)来の大雪。安政3年・文久3年・明治14年の雪より多く、天保6年(1836)と同じ。『石川県異災誌』

石川県・福井県の豪雪記録

年	金沢	福井	内尾	女原	中宮	白峰	北谷
大正 7年(1918)	143cm		542cm	506cm	380cm	732cm	
昭和15年(1940)	180cm		275cm	366cm	430cm	380cm	
昭和20年(1945)	130cm		370cm	544cm	480cm	470cm	
昭和22年(1947)	143cm				380cm	360cm	
昭和38年(1963)	181cm	213cm			410cm	420cm	540cm
昭和56年(1981)	125cm	196cm		415cm	500cm	480cm	450cm

内尾(白山市河内町内尾) 女原(白山市女原) 白峰(白山市白峰) 北谷(福井県勝山市北谷)

雪の深淺

左伝に、平地尺に盈みを大雪と為すと見えたるは、其国暖地なれば也。唐の韓愈かんゆが雪を豊年の奇瑞といひしも暖国の論也。されど唐土もろこしにも寒国は八月雪降事五ご雑ざつ組そに見えたり。暖国の雪一尺以下ならば、山川さんせん村里そり立たち地どころに銀世界をなし、雪の飄ひょう々へん翻へん々たるを觀て花に喩たとえへ玉に比べ、勝望美景を愛し、酒食しゅしょく音律おんりつの樂しみを添へ、画えに写し詞ことばにつらねて賞しょう翫がするは和漢わかん古今ここんの通例なれども、これ雪の淺き国の樂しみ也。

我が越後の如く年毎ごとに幾いく丈じょうの雪を視みば何の樂しき事かあらん。雪のため力ちからを尽くし財かねを費やし、千辛せん万苦まんくする事、下に説く所を視ておもひはかるべし。

『北越雪譜』

鈴木牧之

天保八年（一八三七）

白峰、炉端で聞く豪雪の話

雪下ろしは、大変な作業である。屋根に登るだけでも怖いのに、凍って滑りやすい雪の上で重い雪を切って運んで下に落とすのだ。雪が多くなると、落とすところがなくなってくる。うかつに隣家との間に落とすと仲たがいのものになる。時には隣の屋根との間が雪でつながってしまう。落とした雪はどこかへ運び出さなくてはならない。

始末するのは屋根の雪だけではない。家の周囲の方も、せめて一階の欄間から少しは光が入るところまで雪掻きをする。それより下はあきらめる。もともと家の周囲、軒の下くらいまでは雪囲いといって秋のうちに家の本体から少し離して板で囲い、積もった雪が家を直接圧迫しない工夫はしてある。その上が欄間で、そこまでは掘り下げおかないと、家の中がなんとも暗くて陰気になるという。

しかし、いろいろ聞いてみると、要するに一番の問題は雪というものが人に与える徒労感ではないかと思った。つまり、これはおそろしく手間のかかる掃除のようなもので、仕事として創造的な面がまったくないのだ。きちんと屋根の雪を下ろして、道も踏み固めて、家の周囲の雪も掻いて、家のまわりに積みきれない雪を川まで運んで捨てて、ほとんど一日がかりで働いても、その晩またどかっと雪が降ったら、次の日は最初からやりなおし。前の日のあれほどの労働の成果はどこにもものこっていない。

最近では人の精神が軟弱になっていて、年間の経済成長率を先に決めたりする。つまり、生活は向上してあたりまえとされている。すべての労働の成果は蓄積可能と信じている。しかし、そんな勝手な理屈が通用するようになったのはつい最近の話であって、もともとは昨日と同じ一日が送れることを喜ぶというつましい暮

らしかたが当然だったのではないか。積み上げるのではなく、マイナスをゼロにするだけで精一杯だったのでないか。技術革新と他国からの収奪以外に生活向上の手段はなかったはずだ。

人もそれだけ我慢強かったわけで、雪国の苦労もそういう目で見なくてはいけないのかもしれない。しかも、雪はすべての家の上に降る。量に多い少ないはあるが、ほぼ毎年必ず降る。雪は稀に起こる災害ではなくて日常のことである。それがこれだけの労働力をいわば源泉徴収で持ってってしまうというのは、大変なことだろう。大雪は、体力のない年寄りや寡婦の家では、ほとんど恐怖の対象であった。今だって事情は同じかもしれない。過疎地域だったら、昔より悪くなっているかもしれない。自分で雪掻きをやってみるとわかるが、あれは要するに土木作業である。土砂と同じように重くて扱いにくいものをただ運んで捨てる。工事の現場ではブルやパワー・ショベルやダンプがやることになった仕事を、小規模とはいえ人力でやる。壮健な者でも、あの筋力労働は楽ではない。そういう事態が冬ごとに確実に巡ってくる。

『南鳥島特別航路』

池澤夏樹

1991年発行